

安楽死を 考えるために

思いやりモデルとリベラルモデルの
各国比較

盛永 審一郎 著
四六判・140頁

定価2,860円（本体2,600円＋税10%）
ISBN978-4-621-30866-0



安楽死法はどうあるべきかをじっくり考える

安楽死や支援自死を法律で許容する国はなぜ増えているのか？——導入されている国々の安楽死法を基礎づけている「人間の権利」や、さらにはその権利の根底にある道德原則について、各国事例の詳細な分析から安楽死の法・原理の鳥瞰図を具体的に描き出し、我が国にとって、安楽死法はどうあるべきかをじっくりと議論する上での有益な情報を提供する。

◆盛永 審一郎 紹介

小松大学大学院特任教授、富山大学名誉教授。1948年生まれ。東北大学大学院文学研究科博士課程中退。研究テーマは実存倫理学、応用倫理学。共編書に『シリーズ生命倫理学第6巻 生殖医療』『医学生のための生命倫理』『理系のための科学技術者倫理』丸善出版、『新版増補 生命倫理事典』太陽出版、共訳書にクヴァンテ『ドイツ医療倫理学の最前線』リベルタス出版、ヨナス『ハンス・ヨナス「回想記」』東信堂、ヤスパース『真理について4』理想社、監修書に『安楽死法:ベネルクス3国の比較と資料』東信堂ほかがある。

【目次】

- 第1章 オランダの安楽死と法
- 第2章 オランダ安楽死法と倫理
- 第3章 安楽死法アトラス——思いやりモデルとリベラルモデル
- 第4章 子どもの安楽死——非自発的安楽死

- 資料1 世界の終末期医療の最新データ
- 資料2 世界の安楽死法の比較表

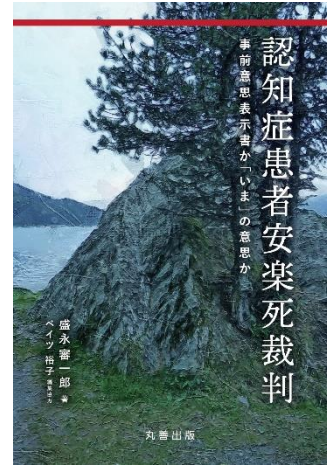
丸善出版

認知症患者安楽死裁判

事前意思表示書か「いま」の意味か

盛永 審一郎 著 ベイツ 裕子 編集協力
 四六判・162頁 定価2,860円（本体2,600円＋税10%）
 ISBN978-4-621-30580-5

『終末期医療を考えるために』の応用編。NHK のスイスでの自殺幫助ドキュメンタリー番組放映後、「死ぬ権利」や「安楽死」を認めろという声が大きくなった。しかし、「死ぬ権利」があるからといって、安楽死(医師による生命終結や自殺幫助)が可能になるわけではない。「福生病院透析拒否事件」等と比較しながら安楽死の在り方を考える。

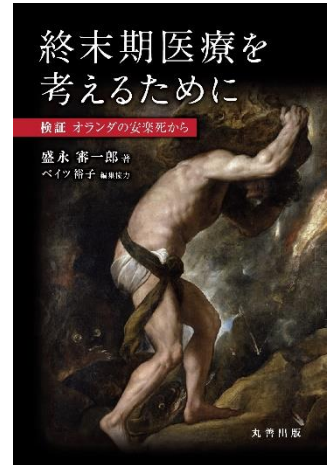


終末期医療を考えるために

検証 オランダの安楽死から

盛永 審一郎 著 ベイツ 裕子 編集協力
 四六判・176頁 定価2,860円（本体2,600円＋税10%）
 ISBN978-4-621-30114-2

オランダで耳鳴りによる耐えがたい苦痛から、安楽死を望み永眠した女性のケースを取り上げ、患者の死ぬ権利、医師の側における死の介助を拒否する権利など、さまざまな見地から検討されてきたオランダの安楽死法制定に至る背景を検証した。そしてまた、日本における終末期医療のあるべき姿について考えるために書かれた一冊でもある。



丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル 営業部
 TEL (03) 3512-3256 FAX (03) 3512-3270 <https://www.maruzen-publishing.co.jp>

2023年11月刊行

安楽死を考えるために 思いやりモデルとリベラルモデルの各国比較

定価：2,860円（本体2,600円＋税10%）ISBN978-4-621-30866-0

冊

注
文
書

お名前

取扱店

ご住所

TEL

冊

※ご予約・注文の際は本注文書をお近くの書店・生協へお持ち下さい。
 ※ご注文をいただいた個人情報は、書店、取次（流通）・弊社間で商品手配の目的に利用させていただきます。